Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

IV	Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価					福山市立	福山市立中条小		学校					
						中間部	価(10月1日)		最終評価(2月末)			ı	
年目	中期経営目標	重点	短期経営目標 短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成評価 改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	マロセス 達成 総合評価 評価	改善方	策	ı	
3	〇「子ども主体の び」〜特別支援教育 を生かした個別最適 な学びの推進〜	★	主体的に学ぶ児童を 育成するために、学 びを充実させる授業 の3Kを踏まえた授 業づくりを行う。 ・教材研究 ・関係性 ・環境整理	①育成したい資質・ 能力を基に教科横断 的な視点で相互の関 連付けや手立てを考 える。 ・家庭学習 ・読書活動	〇児童アンケートで学びに関する質問において、肯定的評価を85%以上にする。	口児童アンケートの学びにおける肯定的評価は80.9%だった。(職員アンケートの肯定的評価は96.7%)表③参照	4	・「家庭学習の充実(量・質)」「読書活動の充実」を掲げ、各学年にあるだいで期・全体で共有しながら、全体で共有しない。・・「後者、地域と課題を持てしている。・「では、おいいでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まず						
	2022 (R4) E	202 正容率 67.0 (67.2) (67.2) (62.5) (11.2.0 (129.7) (1.2.0 (1.2	5.2 9.1 64.0 3.9 7.7 (4.8) (11.1) (67.7) (4.2) (11.9) 4.8 18.2 50.0 7.2 30.8	②ねらいに応じて自己選択自己決定しながら学びに向かえるよう個別最適な学びとなる授業づくりを追及する。 ・リフレクションを通した学びの調整	〇学力の伸びを分析,検証していく場の設定 ・年間を通して ・学力調査等正答率 40%以下の児童の 割合	口学力調査等正答率 40%以下の児童の割合(国語7.7%算数 30.8%)となった。 (表①参照)また, 学力の伸びがある児童(国語51.3%算数 79.1%)となった。 (表②参照)引き続き算数が課題となる。		基づく個別の支援・配慮の支援・配慮の大きというできますでは、育てたい資質をいるでは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点	5年生までに受けた授業で、自2 まく伝わるよう、資料や文章、話の	対話的で深い学び」に関する項目) かの考えを発表する機会では、自分の考えがう 組立てなどをエ夫して発表していましたか。	a 67.6	」「2」を回答し 自校現 今年度 69.3		· 自校 現小5生 46.7
	【表②】	R4→5	R5→6 算数 国語 算数 56.3 81.3 (66.3) (56.0) 00.0 46.2 76.9 75.7) (44.9) (58.6)	③児童の運動意欲・ ・各学のでは、 ・各学のでは、 ・各学のでは、 ・各学のでは、 ・各学のでは、 ・各学のでは、 ・各学のでは、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・	〇児童アンケートで 「運動やスポーツを 全くしない」と答え る児童を8%以下に する。	□児童アンケートツを 全くのででを 全くのででを を会しない」とであった。 でのででを でのででを でのでででを でのでででを でのでででを でのでででを でのでででを でのでででを でのででを でのでででを でのでででを でのでででを でのでででを でのでででを でのでででを でのででを でのでででを でのでででを でのでででを でのででを でのでででを でのででを でのでででを でのでででを でのでででででを でのででででを でのででででを でのでででを でのででででを でのでででででを でのでででででを でのでででででを でのでででででを でのでででででででででを でのでででででででででで		・新体力テストの課業を会体の課業を会体の課業を会体の課業を会体の関係を表示した。 トの授動するでは、いいでは、いいでは、いいのののでは、いいのののでは、いいのでは	り組んでいましたか。 5年生までに受けた授業では、の考えをまとめる活動を行ってい 5年生までに受けた授業は、自分いましたか。 学級の友達との間で話し合う活え方に気付いたりすることができずした内容について、分から習につなげることができています 授業で学んだことを、次の学習ととができると思いますか。 先生は、授業やテストで間違えがるまで教えてくれていると思いま	トにあった教え方、教材、学習時間などになって 動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考 ていますか。 た点や、よく分からなかった点を見直し、次の学 か。 >実生活に結び付けて考えたり、生かしたりする こところや、理解していないところについて、分か すか。 りの人の考えを大切にして、お互いに協力しな	81.9 79.6 84.3 86.3 80.8 83.7 87.9 91.6	84.6 92.3 92.4 100.0 92.3 92.3 100.0 92.4 815.6		93.3 66.7 86.7 93.3 66.7 93.3 100.0

〇望ましい集団づく りの実現 〜自分を磨き,とも に学び支え合う児童 の育成〜 3	及び集団のよりよい あり方について考え る児童の育ちを支援 する。 ・自治活動	東なる充実 ・個人やクラスのリフレクションを共有できる場を設定することにより、異学年における望ましい。 で自他への理解を深めるために、児童相互の意味付けや価値付けを行う機会を増やす。	の肯定的評価は、自己肯定感82.2%自己有用感84.2%であった。 口児童のリフレクションで、自他への理解が深まっていると捉えることができる児童は77.2%であった。	ションを交流する時間 を設け(学習発表会の 練習やたてわり掃除 等)、児童同士が価値 づけられるようにす る。
〇信頼される学校づくり 〜学ぶ実感・やりがいの実感〜	継 教職員のやりがい・ 続 充実感の向上を図る	時間の確保 ・子でもと向き合が る業務の具体に 取り組織を 等) ②カリキュラムの交 流時間の設定 ・カリキュラムの交 流時間の設定 ・カリキュラムの交 流時間の設定 ・カリキュラムの交 流時間の設定 ・カリキュラムの交 流時間の設定 ・カリキュラムの交 流時間の設定 ・カリキュラムの方のがい」[個性にを りがい」[個性にを りがい」[個性にを りがい」のる肯定的にする。 りがいていいでいる でのがいでいる でのがいでいる でのがいでいる りのののがいでいる でのがいでいる でのがいでいる でのがいでいる でのがいている でのがいでいる はしている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でのがいている でののがいている でのがいている でのがいている でのがいと でのがいている でのがいている でのがいでいる でのがいている でのがいている でのがいている での でして、 でく。 できな でく。 できる できる できる でもの できる でもの でもの でもの でもの でもの でもの でもの でもの でもの でもの	3 88.9%, 「充実感とやりがい」 100%[個性が認められている」100%だった。 口保護者アンケート 「満足度」の肯定的評価は97.3%だった。	 ・校務補助員に依頼できる業務を増やし、子ともと向き合う時間が増えるようにしていく。 ・学校だよりをカラー印刷にする等して、学校からの情報に対する保護者のの情報に対する保護者のの情報心を増やしく。 ・理事会等で学校教育活動についての報告を継続して行い、感想や意見をいただく機会を増やす。

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

「達成評価の評価基準」

評点				
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。			
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。			
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。			
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。			
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。			

「総合評価の評価基準」

評点	評価基準				
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。			
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。			
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。			
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。			
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。			